

令和 3 年 4 月定例

伊達市教育委員会 会議録

令和 3 年 4 月 14 日開催

令和3年4月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時 令和3年4月14日（水）13時30分～
2. 開催場所 伊達市役所東棟3階 庁議室
3. 出席者 教育長 菅野 善昌
1番 菅野 千恵子 委員（教育長職務代理者）
2番 三品 清重郎 委員
3番 関根 勝富 委員
4番 貝羽 貴子 委員
4. 欠席委員
5. 説明のため出席した者
教育部長 原 好則
教育総務課長
（兼学校給食センター所長） 土田 一紀
教育総務課主幹（教育施設担当） 佐藤 真
生涯学習課長 小賀坂 義一
学校教育課長 熊澤 正人
こども部長 橘内 重康
こども未来課長 桃井 秀孝
ネウボラ推進課長 畠 香苗
6. 本委員会書記
教育総務課総務企画係長 菅野 早苗
教育総務課総務企画係主事 大橋 勝

7. 日程1 開会

○菅野教育長 令和3年4月定例伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席していますので会議が成立しています。また、開会時刻は13時30分です。

会議に先立ち、令和3年度の人事異動にて教育委員会に転入しました職員の自己紹介を行います。教育部長からお願いします。

- 原教育部長 自己紹介
- 小賀坂生涯学習課長 自己紹介

- 畠ネウボラ推進課長 自己紹介

- 菅野総務企画係長 自己紹介

8 日程2 会期の決定

- 菅野教育長 会期決定についてお諮りします。会期は本日14日にしたいと思っています。異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

- 菅野教育長 異議なしと認め、会期は本日14日と決定します

9 日程3 議事録署名委員の指名

- 菅野教育長 議事録署名委員の指名に移ります。本日の議事録署名は、3番関根委員と4番貝羽委員にお願いします。また令和3年3月定例会会議録は三品委員と関根委員に、令和3年3月臨時会会議録は菅野委員と三品委員に署名いただいていることを報告します。

10 日程4 会議の進め方

- 菅野教育長 本日の会議の進め方について、土田教育総務課長から説明願います。

- 土田教育総務課長 会議次第により説明

1 議 事

議案第23号 令和3年度伊達市就学指導審議会委員及び就学指導専門調査員の委嘱について

2 協議

- (1) 令和3年度通学合宿体験事業の中止について
- (2) 令和3年度伊達市教育委員会教育行政経営方針について

3 報告

- (1) 教育長から
- (2) 各教育委員から
- (3) その他

11 日程 5 傍聴の許可

○菅野教育長 傍聴希望の方はいますか。

○菅野総務企画係長 いません。

12 日程 6 議事

「議案第23号 令和3年度伊達市就学指導審議会委員及び就学指導専門調査員の委嘱について」学校教育課長から説明をお願いします。

○熊澤学校教育課長 資料により説明

○菅野教育長 議案第23号について、委員の質疑をお願いします。

○菅野委員 審議委員、指導専門委員の簡単な役割を教えてください。

○熊澤学校教育課長 就学指導審議会は秋に開催され、児童生徒の中で特別支援学級で教育を受ける必要があるかどうか、教育委員会からの諮問に対し、調査審議することが役割となります。

専門調査員は学校からの資料を基に児童生徒や保護者と面談し、就学指導審議会の資料を作成することが役割となります。

○菅野教育長 他になければ質疑なしと認め、質疑を終結します。
これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

異議なしと認め、「議案第23号 令和3年度伊達市就学指導審議会委員及び就学指導専門調査員の委嘱について」原案のとおり可決されました。

13 日程 7 協議

○菅野教育長 協議に移ります。

(1)「令和3年度通学合宿体験事業の中止について」生涯学習課長から説明をお願いします。

○小賀坂生涯学習課長 資料により説明

○菅野教育長 「令和3年度通学合宿体験事業の中止について」委員の質疑をお願いします。

○貝羽委員 代替事業は全員参加の事業になる予定ですか？

○小賀坂生涯学習課長 土曜日曜参加で宿泊を伴わない方式で自由参加とすることを考えています。

○菅野教育長 学校の教育課程には位置付けられていない学校管理下外で行う事業となっています。なお本市の宿泊施設「とまっぺ」の利用について、教育長会議の際などにリーフレットを配布し、県北各市町村で利用を考えている場合は紹介してほしいと話をしてきました。去年はスポーツ少年団や一部学校の宿泊学習や大人のクラブ活動などに「とまっぺ」が利用されています。今回通学合宿での子ども達の宿泊はできないが施設利用促進に向け努力をします。

次に(2)令和3年度伊達市教育委員会教育行政経営方針について、基本方針の説明を教育総務課長から説明お願いいたします。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 「施策1：子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実」について担当課から説明をお願いします。

○桃井こども未来課長 資料により説明

○畠ネウボラ推進課長 資料により説明

○菅野教育長 ただいま説明あったことについて、ご意見、ご質問のある方の発言をお願いします。

○関根委員 屋内子ども遊び場について、悩み相談情報交換ができる地域拠点

と記載されているが、具体的に情報交換会のお知らせなどを発信していますか？

○**桃井こども未来課長** 地域の方との交流事業を企画しています。

○**三品委員** 赤字で変更してあるが今までと同様の内容のものがある。改善されているから赤字で書かれていると思われる。赤字で書かれている趣旨を教えてください。

○**橋内こども部長** 子ども遊び場は追加しました。また令和3年度からの組織変更により担当部署が変更となった部分、特に強化して取組む部分を赤字としています。

○**三品委員** 追加した場合は新しく予算を確保するのか、または従来予算内で強化するのか教えてほしい。

○**橋内こども部長** ネウボラ推進課の新しい事業としてあおぞら事業を重点的に取り組む予定です。事業費は少額だが、あおば教室で取り組んでいた以外の対象者に向けたこども部独自の取り組みとなります。

○**菅野教育長** 屋内子ども遊び場は原発事故以来子ども達が屋外で遊ぶことができないため、屋内で体を動かす目的で場所を提供したいという事が当時の意義でありました。現在は屋外で十分遊べ、当時と価値が変わってきています。昔と同様の運営では意味が薄れてしまいます。委員からも質問があったが、子育ての悩み相談や情報交換会や伊達の施設はカフェもあり、場所を有効活用し子ども遊び場に付加価値をつけていけるよう、事業を発展させていきます。

その他ありましたらお願いいたします。

○**菅野委員** ファミリーサポートセンター事業、子育てアプリ事業による実績を教えてください。

○**橋内こども部長** 実績のデータが手元に無いため、後ほどお示します。ファミリーサポート事業はまかせて会員、おねがい会員それぞれいるが50人弱と少なく機能が発揮できていません。昨年度は東邦銀行横に事務所を構え、対外的にPRしたが、マッチングしない事もありました。また委託先が撤退したいという意向もあり、今年度は課内にスタッフを1名確保し、職員が会員とのマッチ

ングを行いながら、支援を進めていく予定となっています。

子育てアプリ事業はホームページ内に「にこにこ」という子育て支援のページを立ち上げており、子育て世代に市のイベント情報や子育てに悩んだときにページを見ていただき、支援に繋がれるようにしています。
アプリを登録している方が毎月100人弱いるためデータを後ほどお示しします。

○菅野委員 昨年度もファミリーサポート事業は需要と供給のバランスが悪いと報告があったと記憶しています。今年度も事業とする場合は記載の工夫が必要と感じました。

○原教育部長 経営方針の書き方は今年度どの様なことを進めていくのか概略、方向性が分かるよう記載をしています。細部の戦略等は事業シートでまとめています。要覧に経営方針を入れ、多くの方に見ていただき教育委員会の方針を周知するため、毎年取りまとめており施策事業の方向性の部分を記載しています。

○菅野教育長 その他ありましたらお願いいたします。

○貝羽委員 サポートセンター事業で担当を1人設けたという事だが、1人で行うことは負担が大きいのではないかと思う。以前仙台に住んでいたが実際このような事業が運営されていた。以前からも本市でファミリーサポート事業の話題が上がっていた。軌道に乗せていくため担当が1人で良いのか、今後事業を軌道に乗せるため、どの様に取り組んでいくのか教えてほしい。

○橋内こども部長 仕組みが浸透していないため、広報に力を入れ市民に周知することから取り組む。会員の募集をホームページ等でも行い周知を強化していく。担当は1名となっているが専属1名、係として6人体制となっています。

○菅野委員 こども支援課がネウボラ推進課に変わりネウボラ推進室などが異動してきたと定例会時に説明がありました。以前まで健康福祉部にあった部署が教育委員会になったことで引継ぎや今後の連携について教えてほしい。

○橋内こども部長 児童虐待等の相談事業は連携が非常に大切で発達支援、DVを含め、虐待等に対応する場面が増えています。コロナ禍であることも影響があると思われます。こども相談員、こども家庭相談係の担当が対応しているが家庭において発達の遅れた子どもが被害にあうことが増加しています。これら

を総合的に支援するため、国で定めた「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、スタッフを配置しています。令和3年度は社会福祉士を正職員として採用し、総合的な支援対応に取組み、養育支援訪問が主な事業となります。ネウボラ事業が子育て世代包括支援になり、令和3年度からはこども部で総合的に取り組んでいきます。就学前の子ども達の支援を強化するため、組織の見直しを行ったものです。

○菅野教育長 その他なければ次に「施策2：「生きる力」を育む学校教育の充実」について説明をお願いします。

○熊澤学校教育課長 資料により説明

○小賀坂生涯学習課長 資料により説明

○佐藤教育総務課主幹 資料により説明

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 ただいま説明あったことこのことについて、ご意見、ご質問のある方の発言をお願いします。

○貝羽委員 オンライン学習について、家庭でインターネット環境が整備されていればオンライン学習は可能なのですか？

○熊澤学校教育課長 端末も設定済みであり、オンライン学習は可能となります。

○三品委員 1つ目は教師のコーディネート向上に向けて学校訪問等の機会を多くつくりと記載があるが、現在まで機会をあまり設けることができなかったのか。学校訪問の頻度なのか教えてほしい。

2つ目は、ICT教育について支援員を各学校に配置したいと書いてあるが、予算と人材は揃っているのか教えてほしい。

○熊澤学校教育課長 毎年学校訪問は市内学校の半分ずつ2チームを組み、授業参観をして事業研究会を行い、教師の指導力向上のため協議をしています。今年度も10校程度学校訪問の予定があるが、学校独自に事業研究会を開催する

ことがあります。今までは学校内部でのみ行っていたが、教育委員会にも声をかけてもらい指導主事が授業参観し、一緒に協議して力を高めていきたいと考えています。各学校から事業研究会の要請があれば出席するようにして多くの機会を作りたいと考えています。ICT支援員については3月議会の際に予算を計上しており、契約会社を選定して、4月後半から5月中に各学校に配置出来る様に進めています。

○三品委員 支援員は外部から派遣なのですか？

○熊澤学校教育課長 民間会社に委託します。

○菅野委員 学校訪問は行われていたが、今年度から趣旨が異なる学校訪問となりますか。

○熊澤学校教育課長 教育委員に来校してもらう学校訪問は従来通りの趣旨で行います。加えて各学校の授業研究会等が行われますが、可能な限り積極的に出向き、事業力の向上に努めていきます。

○菅野教育長 その他なければ次に「施策3：心を育む生涯学習の推進」について説明をお願いします。

○小賀坂生涯学習課長 資料により説明

○三品委員 スポーツレクリエーションの振興の部分について社会施設17ヶ所に管理運営の指定管理を行うとあるが、施設利用のルールが毎回異なっています。市の関与、スポーツ振興公社の権限はどの程度あるのか明確になれば市民は利用しやすくなると考えます。ガイドラインを示してほしいです。

○小賀坂生涯学習課長 施設、利用者、スタッフによって対応が異なるようです。スポーツ振興公社と協議し、基準の作成を検討していきます。

○原教育部長 指定管理の契約の中で公社との基本協定書に基づいて運用しているところですが、注意すべき部分についてスポーツ振興公社との協議が足りないと思われます。今後スポーツ振興公社と協議を行っていきます。

○関根委員 電子書籍を借りてみました。案内を見ながら行くとスムーズに本

を借りることができましたが案内がない場合、使い方が分からないのではと感じました。本市ホームページに電子書籍の借り方手順の掲載など電子書籍貸出システムをアピールする必要があると思います。

○小賀坂生涯学習課長　ご指摘のとおり、初期設定のパスワードが分かりづらいなどログインするまでに時間を要する部分もあると思います。図書館と検討し説明書も見やすく分かりやすいものになるよう改善を図ります。

○菅野教育長　その他なければ次に「施策４：文化財の保護と芸術文化の振興」について説明をお願いします。

○小賀坂生涯学習課長　資料により説明

○三品委員　文化財の保護、芸術文化の振興は見えにくい。実績や成果また事業の期限を示してほしい。

○原教育部長　文化財の保存と展示は観光等にも利用できるよう検討してまいります。文化財の保全保護は予算確保等の課題もあり、計画が長期化する傾向があります。できる限り年度ごと進捗を示します。

○菅野教育長　その他なければ次に「重点的に連携を推進する事業」について説明をお願いします。

○熊澤学校教育課長　資料により説明

○小賀坂生涯学習課長　資料により説明

○貝羽委員　子育て日本一のまちづくりという言葉が出てきたがモデル地区はありますか？

○熊澤学校教育課長　モデル地区はありません。福島市、郡山市、いわき市には教育センターがあり、複合的に実施していると聞いています。本市は教職員研修、子育ての悩み、不登校、いじめ、児童生徒と保護者が抱える問題について、本市教育センター窓口に行けば全てが解決する総合的な受入れ窓口を作り、積極的な子育て支援ができるよう考えています。

○三品委員 3つの施策があるが全ての課に関わる内容となっているため、プロジェクトリーダーはどこの課になりますか。構想はあるが現実的に進めていくことは難しいのではと感じます。

○原教育部長 総合教育センター構想について学校教育課が主体的に進めます。

○菅野教育長 部・課の組織を乗り越え、一体となり事業を進めていくことが大切になります。

本市のように、こども部と教育部が同じ教育委員会にあることは珍しく、そのメリットを最大限に生かし、子ども達の家庭環境の中の課題が少しでも解消されれば、不登校にならずに済む子もいるのではないかと思います。

また、今年度からこども部にネウボラ推進課ができたことから、関係部署との連携等を更に深め、取り組んでまいります。

○菅野委員 学力向上を推進し、教職員の研修、ICT活用の研修や子育て教育の相談・支援体制など、一步進んだ総合教育センターの設置を目指してほしいと思います。

○熊澤学校教育課長 今後検討を加え行っていきます。

○菅野教育長 行政経営方針全体通して何か委員からあればお願いします。
なければ次に報告に移ります。

14 日程8 報告

令和3年度 4月定例教育委員会会議 教育長報告資料

○菅野教育長

1 令和2年度の締めくくり

(1) 卒園式、卒業式

- ① 中学校卒業式・・・令和3年3月12日（金）
- ② 伊達市立幼稚園・・・認定こども園卒園式・令和3年3月22日（月）
- ③ 小学校卒業式・・・令和3年3月23日（火）

(2) 大石小学校閉校式

令和3年3月23日（火）卒業式に合わせて実施

2 令和3年度を迎えて・・・令和3年4月2日（金）

※ 令和3年度第1回 伊達市園長、小・中学校長会議

※ 幼児、児童・生徒の新型感染症防止対策の徹底と誹謗・中傷の絶無を目

指す

- 学年始め：三密の回避、新しい生活様式の徹底 ⇒ 習慣化 ⇒ ストレスの緩和

3 令和3年度のスタート（儀式：規模縮小、出席者制限の中で）

※ 始業式、入園式、入学式

- ① 保原保育園・ 令和3年4月10日（土）
- ② 小学校・・・ 令和3年4月6日（火）
- ③ 中学校・・・ 令和3年4月6日（火）
- ④ 伏黒幼稚園、堰本幼稚園、栗野幼稚園、保原幼稚園、柱沢幼稚園
梁川認定こども園、月舘認定こども園・・・令和3年4月7日（水）

4 新型感染症への対応

（1）年度末・年度始め休業中の感染の現状と対応及び新年度を迎えての諸活動のあり方

① 小・中学校【学校教育課】

○熊澤学校教育課長 小中学校の感染状況ですが、前回定例教育委員会から本日までの間に8件の報告がありました。3月26日金曜日、梁川小学校女子児童2名。当時小学校2、4年生が陽性となりました。それぞれ兄弟もおりましたがPCR検査で陰性となり、当該児童とその兄弟4名は4月10日月曜日から登校しています。

2件目は桃陵中学校2年生男子生徒。父親の勤務先で感染者が確認され父親は濃厚接触者となりました。4月4日にPCR検査を受け、結果が出るまで男子生徒を自宅待機。4月5日月曜日陰性が確認され4月6日から登校しています。

3件目4月6日火曜日桃陵中学校1年生男子生徒の母親が陽性となりました。1年生男子生徒は濃厚接触者となりPCR検査を受け陰性。2週間自宅待機中となっています。

4件目4月6日火曜日桃陵中学校1年生女子生徒。母親が勤務する病院の患者が陽性。母親は濃厚接触者となりました。女子生徒、3年生の兄ともに自宅待機。4月7日に母親PCR検査、結果は陰性。4月9日から女子生徒、兄とも登校。

5件目4月10日土曜日梁川中学校女子生徒。両親が営む会社の従業員が発熱、PCR検査を受け女子生徒は4月10日に部活動へ参加せず自宅待機となっています。従業員が陽性となり両親が濃厚接触者、PCR検査を受け両親の結果が判明するまで女子生徒は自宅待機。4月11日両親、他の従業員の検査結果は全て陰性となり、4月13日火曜日から登校しています。

6件目桃陵中学校3年女子生徒。発熱で欠席し出席停止扱いとなっています。13日火曜日、母親から電話があり生徒の熱は下がったとのことでした。しかし

父親の勤務先で感染疑いのケースが発生しました。父親がPCR検査を受け、結果が判明するまで自宅待機をします。

7件目 4月13日火曜日大田小学校3年男子児童。母親の職場の同僚の同居両親がPCR検査を受け結果は本日出る予定です。同僚の両親が陽性となれば同僚もPCR検査を受け、同僚の結果によって母親もPCR検査を受けます。結果が判明するまで、男子児童を自宅待機させます。

8件目 4月13日火曜日桃陵中学校2年男子生徒がPCR検査を受けました。4月14日判明したが陽性となりました。同居する兄が仙台の専門学校生。兄も4月13日に陽性と判明。4月14日桃陵中学校は臨時休業しています。男子生徒は、4月の6、7、8、9日登校しており、4月10日から自宅待機となっています。情報を早急に精査し今後の対応を決めます。

② 保育園・幼稚園・認定こども園【こども未来課】

○**桃井こども未来課長** 3月24日、保原保育園の会計年度任用職員が本人及び子どもが感染の疑い。PCR検査を実施し、3月26、28日に陰性となっています。

3月27日保原保育園の会計年度任用職員の夫が体調不良のため病院を受診。PCR検査を実施し、3月29日に陰性と判明しています。

梁川保育園で3件事例が出ています。3月29日園児家族の陽性が判明。園児のPCR検査を行い陰性と判明しました。

3月27日同じく同居家族が陽性と判明し園児にPCR検査を実施し陰性と判明しました。4月9日同様に同居家族が陽性と判明、本人は4月12日PCR検査を受け陰性と分かりました。

園児、職員については陰性となっており、今現在のところ陽性者は確認されていません。

(2) 中学校における修学旅行の予定状況【学校教育課】

○**熊澤学校教育課長** 中学校今週来週で修学旅行が行われます。

伊達中学校13日から15日まで日光河口湖方面に修学旅行中。現在生徒に異常はありません。保護者から子ども達のためにぜひ修学旅行を実施してほしいという声があったと聞いています。

梁川中学校は来週月曜日から水曜日まで新潟佐渡方面。

松陽中学校は来週水曜日から金曜日まで岩手方面。

桃陵中学校は5月21日に1日のみ県中方面へ校外学習。

霊山中学校昨日と本日いわき方面。今のところ異常ありません。

月舘学園中学校は来週水曜日から金曜日まで北海道方面という予定になっています。

5 霊山地域の小中学校適正規模・適正配置にかかる現状と今後の進め方【教育総務課】

○土田教育総務課長 4月1日に大石小学校が掛田小学校に統合し、今後の小学校統合実施計画の対象は小国、石田小学校の2校となります。2月末までに、それぞれ2校の保護者の統合に対する意見を集約しました。小国小学校は、小規模校のメリットを享受しており、当面統合は考えていません。石田小学校は統合することはやむを得ないと考えており、小国小と同時統合を検討していきたいという意見がありました。それぞれのPTA会長が随時情報交換をしています。石田小学校の保護者の考えを今後注視していきます。

6 各種施策・事業

(1) 各学校における教育活動の充実に向けて【学校教育課】

① 伊達市 ICT スタンダード

② 幼児教育と小学校教育をつなぐ～スタートカリキュラム～

○熊澤学校教育課長 ICTスタンダードの研修を3月に行い、各学校1名のICT教育担当の教員を対象とし、3月16日は伊達、保原の学校研修、3月18日は梁川、霊山、月舘の学校研修を行った。今後の研修予定はICT支援員を講師として、各学校の実態に応じ学校ごとに随時実施していく。4月2日金曜日、伊達市教職員研修講座と月舘学園ICT教育研究公開を合わせた研修を実施する。

スタートカリキュラムについて各学校に聞いたところ、子どもが自信を持った小学校生活をスタートできるように4月の学校生活開始時においては国語、算数などの週時数を減らし、生活の時間を多く取り入れ幼稚園、保育所、認定こども園等での生活に近い環境を設定しスタートカリキュラムを進めているという報告を受けています。

(2) 不登校対応の充実について【学校教育課】

○ 適応指導教室（あおば教室）の移転

○熊澤学校教育課長 昨年度まで青葉教室は梁川町の元国保病院の向かいにある美容室の空き家があり、場所を借りて進めていました。今年度から梁川分庁舎3階にある広い部屋を確保し、指導を実施しています。新しい環境の中で子ども達が自ら将来の自立に向けた指導を進めていきます。

令和2年度の不登校児童生徒の数を報告します。3月末時点30日以上学校休んでいるという定義に当てはまる小学生は23名。前年度は14名となっています。中学生は71名。前年度は61名となっています。小学校6年生が前年度6名から12名に増加しています。中学校では中学1年生が11名から26名に増加していま

す。特に中学校1年生は臨時休業中に中学生となった環境の中で、適応がうまくいかなかったケースが見られたのではと思っています。今年度学校に不登校対応は初めの1週間の対策、対応が重要であるというチラシをつくり、具体的に指示しています。普段の生活の生徒観察を徹底します。欠席したら即、電話連絡。2日続いたら家庭訪問の実施。計連続欠席7日以上は援助チームを中心とした組織的対応を行い、誰が何をいつからいつまで行うのか明確にし、対応してほしいと指示をしています。

(3) 伊達市電子図書館の運用について【生涯学習課】

○小賀坂生涯学習課長 新聞記事により説明

(4) 伊達市版ネウボラ事業の充実について【ネウボラ推進課長】

○畠ネウボラ推進課長 資料により説明

○菅野教育長

7 その他

(1) 3月、4月教育長の部屋

(2) 新聞報道、学校だより等から

○菅野教育長 意見や質問等があればお願いします。

○三品委員 濃厚接触者の児童生徒が自宅待機になった場合、学校はどのような対応をしますか。

○熊澤学校教育課長 コロナ関連で休んでいることを秘匿しておきたい場合などは違った理由をつけて説明するなど、その後の不利益にならないよう対応しています。

○菅野教育長 次に(2)各教育委員の皆様からの報告に移ります。報告のある委員の方の発言をお願いします。

○菅野委員 教育要覧は1学期中には完成できるようにしてほしいです。新学期が始まり、新1年生が上級生に連れられ遊ぶ姿が見られました。遊具の点検はしていると思いますが、遊具の事故など無いようにしてほしいです。ある学校ではブランコの危険防止枠のボルトが外れており、教頭がビニールテープで応急処置をしてくれました。小さなことが大きな事故につながらないように、点

検をお願いいたします。

○熊澤学校教育課長 年に1度は県、文科省から点検をするように注意喚起の通知がありますが、毎日の見回りや定期的な遊具点検について再度指示してまいります。

○菅野教育長 毎月1日は学校安全の日になっており、また全職員で月1回点検を必ずやることとなっています。子ども達の安全のため確実に実施するよう指導してまいります。

○土田教育総務課長 教育要覧は主な統計資料になっているため、5月1日付けで各担当課からデータを収集し、6月から7月までに完成できるよう進めています。

○菅野教育長 5月1日付の調査のため、発行は早くとも6月下旬あたりになります。

次に（3）その他に移ります。教育委員会行事報告・予定表について、教育総務課長お願いします。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 次回の日程について事務局から説明願います。

○土田教育総務課長 次回の定例教育委員会会議

日時 令和3年5月19日（木）13時30分～

会場 庁議室

○菅野教育長 本日の4月定例教育委員会会議は、15時43分で終了します。

15 日程9 閉 会 15時43分

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

令和3年4月14日

議事録署名人

3番委員

4番委員

議事録調製者 教育総務課総務企画係主事 大橋 勝